

『埼玉県勤労者山岳連盟・岩ネットの練習に参加させて頂いた感想』

新座山の会・近藤修一

奥武蔵・日和田山 男岩にて

平成 24 年 5 月 26 日(土曜日)9:30 頃～16:30 頃

参加者:計 8 名(水谷理事[講師]、松本理事を含む)

初めて岩ネットの練習に参加させて頂き、感想文を書く機会まで頂きました。

講師・理事をはじめ、参加者の皆さんに大変お世話になり、有意義な練習が出来ました。本当にありがとうございました。



新座山の会のメンバーが高麗駅に9時に集合し岩場に着いた時には、すでにロープはセットされ準備万端でした。申し訳ございませんでした、次回はもっと早く来ます。

急いで登攀装備を準備し、計 7 人が集合して練習開始です(1人は仕事の都合で後から参加)。

最初に確保器(ATCガイド・グリグリ等)の説明、確保の方法、登攀中のハンドホールドの取り方を丁寧に説明して頂いた。特に、確保では、「確保者は登攀者の命を預かっているのだから、倒れようが、引きずられようが、握ったロープを離してはいけない」と心に刻み込んだ。

登攀はトップロープで確保してもらっているので安心だ。並行してトップロープを2組セットして頂いていた。もちろん簡単そうな方にチャレ

ンジ(?)だ。

「最初は登り易い所を探して登りなさい」と指示されたが、あんまり簡単すぎるルートではカッコ悪いので、少し見栄を張って登った。『落ちたらカッコ悪い』と思い、とにかくしっかりしたホールドを探しよじ登った。きっと悪い見本の様な登り方だったろう。最後は、登攀の途中で左手の親指がツル。翌々日には腕と脚がパンパンに筋肉痛になる。最後には苦しまぎれにひざを使ったら「ひざはダメ」と檄が飛ぶ。かなり無理をして何とか落ちずに登れたが、確保者が引っ張ってくれていた気もする。練習なのだから、落ちるかもしれない微妙なスタンスにチャレンジするべきだったと反省。

丁寧に御指導頂き、大変お世話になりました。おかげでたくさん勉強できました。これからも、ザイルの友として、よろしくお願いいたします。……来週も日和田山に行くぞー。

